日本精神科看護協会　研究倫理チェックリスト

研究全般に渡る倫理の基本的な考え方	
☐	人権の配慮がなされ、個人の尊厳および自由意思の尊重について記載されている
☐	研究対象者（以下、対象者）の依頼に強制力が働いていない
☐	個人のプライバシーは守られている
☐	対象者へ研究内容が適切に伝えられ、理解を求めた上での同意（ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞ ｺﾝｾﾝﾄ）を得ている。また、必要に応じて代諾者の同意を得る方法、あるいはオプトアウトの実施（理由、方法、内容）が記されている。
☐	安全に対する配慮がされている
☐	取り組もうと思っている研究にかかわる先行文献の検討を行い、研究の意義などを吟味している
研究計画書	
☐	研究内容を示すテーマが明示され、わかりやすく記載されている
☐	研究協力による研究対象者の利益・不利益について記され、不利益を最小にする方法を講じている
☐	研究対象者の選定手続きの公平さが保たれている
☐	対象者に合併症や副作用などが生じた場合の対応や措置について記されている
☐	研究対象者が協力を拒否できることを守る措置が記されている（同意撤回書）
☐	データ収集や処理方法等におけるプライバシー保護のための措置が記されている
☐	研究成果の公開方法について記されている
☐	研究開始および終了予定の年月日が記されている
☐	研究開始前に、研究倫理審査の承認を得ており、承認番号を記載している
依頼書・説明文書	
☐	研究の目的や内容、手順がわかりやすく記され、説明している
☐	研究協力に伴う不利益、不自由、リスクが記されている
☐	自由に拒否や辞退、撤回ができ、それによる不利益はないことが記されている
☐	研究協力者への利益や社会への還元などが記されている
☐	予想される身体・精神的負担と、それが生じた場合の対処について記されている
☐	研究成果の発表方法とプライバシーを守る手立てについて記されている
☐	質問に答える準備があることの説明がなされ、研究担当者および責任者の連絡先が記載されている
同意書・同意撤回書	
☐	研究タイトルと、研究内容を説明した者の署名覧が設けられている
☐	同意（同意撤回）した日付、および対象者の署名覧（代理人の署名覧含む）が設けられている
☐	対象者と研究者の2つの同意書（同意撤回書）が準備され、1つを対象者に渡している
利益相反	
☐	研究課題に関係のある企業などがある場合、その関係を開示し、ない場合その旨を記載している
☐	関係のある企業などとの研究においてバイアスがかかりにくい状況になっている
研究の公表	
☐	本研究で行った倫理的配慮を明記している
☐	個人や対象集団の特定につながる情報は記載していない
☐	文献や、使用した測定器具、その他のモデルがある場合、引用元を明記している